

2021年11月10日

各 位

東京都台東区上野 1 丁目 15-3

会社名 **株式会社 ナガホリ**

代表者名 代表取締役社長 長堀 慶太
(コード番号 8139 東証第2部)

問合せ先 常務取締役管理本部長 吾郷 雅文
(TEL. 03-3832-8266)

令和4年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

令和3年5月14日に公表いたしました令和4年3月期第2四半期(累計)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想の修正について

(1) 令和4年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(令和3年4月1日~令和3年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	120	70	20	1.30
今回発表予想(B)	8,347	113	95	2	0.13
増減額(B-A)	347	△7	25	△18	
増減率(%)	4.3	△5.8	35.7	△90.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(令和3年3月期第2四半期)	6,931	△318	△341	△467	△30.49

(2) 修正の理由

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、外出自粛による集客減の影響を受け、消費行動の自粛傾向や雇用・所得環境の悪化懸念など、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、感染症対策を施した環境での自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。

これにより、売上高は予想を若干上回り、売上総利益率は若干想定を下回ったものの、販売費及び一般管理費がほぼ想定を確保し営業利益は予想を若干下回りましたが、営業外収益が為替差益等により想定を上回ったこと等により経常利益は上方修正することとなりました。しかしながら、新型感染症対応による損失を特別損失に、助成金収入を特別利益に計

上したこと、又、第1四半期に投資有価証券評価損を計上したこと等により、親会社株主に
帰属する四半期純利益は予想を下回る見込みであります。この結果、第2四半期の連結業績
予想を修正することになりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現在のところ令和3年5月14日に公表いた
しました連結業績予想に変更はありません。修正の必要が生じた場合には速やかにお知ら
せいたします。

(注) 当該予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありま
す。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上